団体戦の綱引きで相手チームに負けまいと力いっぱい綱を引く団員

団員同士の交流深める「スポーツ少年団のつどい」

11月9日秋晴れの中、北条小学校グラウンドで開催された「加西市スポーツ少年団のつどい」には、市内のスポーツ少年団17団体の団員や指導者、保護者など約400人が参加し、大いに盛り上がりました。個人戦では耐久縄跳びやグラウンドゴルフホールインワン競争が行われ、団体戦の大縄跳びや綱引きでは一段と熱気が高まるなど、真剣な表情や笑顔があふれるプレーが多く見られました。団員同士の絆を深める素晴らしい機会となりました。

的に向かって水量を調整しながら放水する消防団員

防災の大切さを体感「KASAI防災フェスティバル2024」

11月3日、鶉野防災倉庫（鶉野町）で「KASAI防災フェルティバル2024」が開催されました。加西市消防団の各分団対抗消防レースでは、放水で3つの標的を落とすまでの速さと技術力が競われ、第12分団が、日頃の練習の成果を発揮し優勝しました。会場に訪れた参加者は、消防署員から心臓マッサージや消火器の使い方を教わったり、普段は乗ることのできない防災車両やパトカー、白バイの乗車体験をしたりするなど、楽しく学ぶことで防災意識を高めました。

各ブースでは多くの来場者でにぎわう（写真は飲食コーナーの様子）

催しが盛りだくさん「第19回じば産物産展」

「第19回じば産物産展」が、県立フラワーセンター（豊倉町）で開催され、家族連れなどを含む約5,600人が足を運びました。市内の事業所による製品や農産物など、さまざまな商品が展示販売されました。飲食コーナーでは、20を超える出店ブースに多くの人でにぎわっていました。特設ステージでは、ダンスグループや北条高校吹奏楽部などが踊りや演奏を披露。警察や消防の車両展示や体験コーナーなどもあり、子どもたちに大人気でした。

美しい歌声を披露する出演者ら＝加西市民会館文化ホール

文化と芸術の秋「第58回加西市文化祭」

10月27日から11月17日にわたって、加西市文化祭（囲碁、音楽、いけばな展、芸能、お茶、演劇、文芸、美術の8つのイベント）が加西市民会館で開催されました。いけばな展と美術公募展では、初めて「ギャラリートーク」が実施され、学芸員や審査員の先生から作品の解説を直接聞くことができました。いけばな展では、学芸員がいけばなに使われた土器やその土器が出土した市内の遺跡について詳細に解説しました。来場者は、遺跡の話に耳を傾けていました。

鮮やかに作品を作っていく橋爪志侑さん（高等部3年）

木製オブジェの制作 特別支援学校高等部

特別支援学校高等部は、生徒たちが木工、紙漉き、織物、陶芸の4つの班で作業技術を伸ばしながら、将来の就労に繋がるよう、商品づくりを行っています。木工班では、木製オブジェの制作に力を入れており、ネームプレート細かいデザインを切り進めるなど、電動糸ノコギリを巧みに操作しています。

同支援学校では、ネームプレートの注文を受け付けしています。

問合先 加西特別支援学校☎㊽2304

トランポリンを使ってバランス運動をする参加者ら

みんなで楽しく健康に「健康福祉まつり2024」

10月27日、加西市健康福祉会館で「健康福祉まつり2024」を開催しました。このイベントは心と身体の健康を高め、福祉への理解を深めることを目的として毎年開催しています。体組成測定や歯科相談、盲導犬とのふれあいなど約20ブースを企画し、乳幼児から高齢者まで約400人が来場しました。

体組成や歩行姿勢の測定結果を見て喜ぶ人々の姿も見られ、笑顔があふれる一日となりました。

「三番叟まわし」の実演を見学する参加者たち

歴史を通し人権文化を学ぶ 人権フィールドワーク

10月11日、被差別部落の伝承文化について学ぶため、24人の参加者が徳島県を訪問しました。

「人形のムラ」阿波木偶文化資料館では、「阿波木偶箱まわし保存会」顧問の辻本一英さんから講話を聴き、「三番叟まわし」の実演を見学しました。参加者からは「差別は文化をも消し去ってしまうことが印象的でした」との声があり、人権文化について深く学ぶ良い機会となりました。

北条高校読み聞かせ班の演出で車内は和やかな空気に包まれた

北条鉄道で初運行 ハロウィントレイン

11月2日・3日に「ちょ～と遅いHALLOWEEN TRAIN2024」が開催され、魔女やアニメのキャラクターに扮した約110人の親子連れが参加しました。車内では、ハロウィンの絵本を読み聞かせたり手遊びしたりするなど、和やかな雰囲気でした。電車が駅で停車すると車内が真っ暗になり、お化けやゾンビが現れ、子どもたちの中には驚きのあまり泣き出す子も。参加者たちは「ゾンビが怖かった」と話しました。

黙とうが行われている様子

平和への思いを胸に「鶉野平和祈念祭」

10月27日、鶉野飛行場跡（鶉野町）にある鶉野平和祈念の碑前で、姫路海軍航空隊で編成された「白鷺隊」隊員らを追悼する平和祈念祭（第26回鶉野平和祈念祭実行委員会主催）が行われました。地元住民や関係者ら50人を超える参列者があり、黙とう、献花が行われました。その後、小野高校放送部の生徒が隊員の遺書を朗読し、戦没者を慰霊するとともに平和への祈りをささげました。

北条小の児童たちに自作の模型を使って説明する北条高生

北条高生が小学生に伝える 飯盛野疏水の役割

加古川西部土地改良区主催で、市内小学校4年生を対象に、多可町にある「糀屋ダム」や、市内の農業用水に関わる施設見学を行いました。「飯盛野疏水」の見学では、北条高校の生徒が授業の一環で毎年実施しているもので、児童たちにクイズ形式や模型を使って分かりやすく説明していました。西村聡和さん（北条高1年）は、「加西は農地が多いので、地元のことを知ってもらえてよかった」と話しました。